

平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：生産振興課

担当名：主幹担当

内線：4144

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B32	水田フル活用支援事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	米麦産地育成対策費		
事業期間	平成27年度～平成30年度	根拠法令	農林水産業地域の活力創造プラン			戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化		
					分野施策	030201	収益力ある農業の確立			
<p>1 事業の概要</p> <p>国は平成30年を目途に、行政による生産調整から農業者の経営判断へ移行するなどの米政策の見直しを決定している。新たな米政策をチャンスとして活かすため、担い手による水田フル活用をバックアップする施策を総合的に進め、平成30年には担い手の主体的な経営判断で作物を選択し、収益性の高い経営が可能となる環境整備を行い、収入の安定・向上を図る。</p> <p>国から事業採択されなかったことによる減額補正</p> <p>(2) 種子供給体制整備事業 12,500千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 水田フル活用作物の導入・作付支援事業 0千円</p> <p>イ 種子供給体制整備事業 12,500千円 0千円</p> <p>ウ 水田フル活用情報提供事業 1,000千円</p> <p>エ 飼料用米等流通特別支援事業 5,000千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 水田フル活用作物の導入・作付支援事業 麦・大豆を中心に需要拡大及び新品種の導入・普及を推進する。併せて市場の信頼性を確保する取組を進め、水田フル活用に必要な作物が適切に選択できる環境づくりを行う。</p> <p>イ 種子供給体制整備事業 県間で種子ネットワークを構築し、水田フル活用に必要な種子を安定的・効率的に供給する体制を整備する。また、種子生産に必要な調製施設整備を支援する。</p> <p>ウ 水田フル活用情報提供事業 担い手の生産・販売計画の策定を支援する指標を選定するとともに、県による試験的な提供を行い効果を検証する。</p> <p>エ 飼料用米等流通特別支援事業 飼料用米等の流通を拡大するため、JAによる飼料用米等の保管に伴い、新たに発生する集荷施設のオペレーション変更等に要する経費等の一部を助成する(定額)。</p> <p>(3) 事業効果 担い手が主体的な経営判断で作物を選択し、収益性が高く安定的な経営が可能となる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 JA等の農業団体との連携</p>						
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(2) 生産者団体 1/2 国1/2</p>										
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>										
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>なし</p>										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金								
決定額	12,500	12,500							6,000	
現計額	18,500	12,500						6,000		